

議長
「燕三条工場の祭典」で昨年度実施した展示会が世界三大デザイン賞の一つに選ばれる『Red Dot Design Award』ブランド&コミュニケーションデザイン部門でグランプリを受賞しました。この受賞で、燕三条地域のも

ただき全国から寄附いただいたものを、子育て政策を通じて市内の子どもたちのために役立てているほか、さまざまな政策を通じて市民の皆さまに還元しています。

商工業・農業の振興

市長

三条市立大学は昨春秋に2年生の産学連携実習を始め、92社に学生を受け入れてもらいました。今年の秋からは3年生の就職活動が始まります。学生の意思を優先しつつ、学生には市内企業への就職を選択してもらえらる仕掛けづくりをしたいです。



のづくりのすばらしさを再確認しました。引き続き、地域の商工業の活性化のために一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

また、農業については、国の大事な産業である一方、課題が多く、難しいものです。生産者は、毎年異なる気候に合わせて栽培しなければなりませんし、果物などは出荷前に切って一つ一つ品質をチェックすることもできません。国内の食料自給率はカロリーベースで40%以下です。緑豊かな日本で、国内産の農産物を食べていないのはどうかと思います。国には、食料自給率をカロリーベースで60%程度まで引き上げる政策を急いでもらいたいです。

市長

市内にはおいしい米や野菜、桃や梨といった果物がたくさんあります。引き続き、そのおいしさを全国にアピールしていきたいです。

生の列にトラックが突っ込む悲惨な事故がありました。これを受けて三条市では直ちに市内の通学路を点検し、市道で改善が必要な約30カ所を整備しています。教育の質の追求も大事ですが、まずは子どもたちが安心して教育を受けられる環境整備が一番大切だと思います。

議長

私の孫は、市長に通学路の凸凹を直してもらいたいと話していました。道路も、公園の遊具も整備が必要なのがあります。維持管理は大変ですが、引き続き、期待しています。

市長

通学路や公園など必要な整備は今後も続けていきます。また、公園は整備で終わること無く、さらに魅力的な公園とするにはどうしたらよいかという観点から考えることも、これからの時代に必要だと思っています。

議長

今年度は、三条市で妊産婦医療費助成の拡充や第3子以降の3歳未満児保育の無償化拡大など良い政策をされました。しかし、まだやれることはあると思っています。ただ、子育てにおいては、親と行政のバランスを考えることも必要です。親に便利のように、行政が柔軟に子どもを施設で受け入れられるようにする一方、子育て中の方々には、子どもを施設に預けっぱなしにすることなく、しっかりと子どもと向き合い、かけがえのない貴重な時間を過ごしてほしいですね。

市長

新しいことをするには財源が必要で。子育て政策を進めるために、他の政策の財源を減らすことはしておらず、必要な財源はふるさと納税による寄附で賄っています。令和4年度のふるさと納税は想定を大幅に上回り、11月中旬に25億円を達成し、今もなお増え続けています。三条市の魅力を理解い

